

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 誤嚥性肺炎患者における嚥下調整食摂取患者の摂取エネルギー量と栄養状態に関する実態調査

[研究責任者] 医療技術局 栄養サポート室 倉橋 亮

[研究の背景]

＊低栄養と摂食嚥下障害は誤嚥性肺炎の発症や重症化、生命予後に関連する重要なリスク因子です。誤嚥性肺炎で入院された患者さんは、全身状態の悪化や摂食嚥下障害により、食思不振や嚥下困難、食事の疲労が生じ、食事摂取量が低下しやすい状況にあります。また、嚥下障害患者さんへの支援においては、安全な経口摂取のために食形態を調整した食事提供が行われますが、嚥下調整食は普通食と比較して調理工程における加水等の工夫のためエネルギー密度が低く、低栄養のリスク因子となる可能性があります。本研究では、当院に入院された誤嚥性肺炎患者さんを対象として、食形態と摂取エネルギー量および低栄養の関連について明らかにするための実態調査を行うことで、より効果的な栄養支援体制の構築を目指します。

[研究の目的]

＊急性期病院入院された誤嚥性肺炎患者さんを対象に食形態と摂取エネルギー量および栄養状態の関連を明らかにすることです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

誤嚥性肺炎で入院された患者さんで、西暦 2025 年 4 月 1 日から西暦 2026 年 3 月 31 日の間に言語聴覚士による評価訓練を受けた方

●研究期間：西暦 2026 年 4 月 24 日から西暦 2027 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。

カルテ情報：

- ① 基本情報（年齢、性別、身長、体重、入院期間、介護保険の有無）
- ② 医学的診断名、肺炎重症度、現病歴、既往歴、合併症
- ③ 血液所見（CRP、白血球分画、尿素窒素（BUN）、クレアチニン、eGFR、アルブミン、AST、ALT、ALP、総ビリルビン）
- ④ 肺画像所見

- ⑤ 治療内容（酸素療法・呼吸管理の内容、投与薬剤と投与量・期間）
- ⑥ 嚥下機能評価の結果
- ⑦ 食事摂取量、食事オーダー情報（食種）
- ⑧ 栄養状態の評価結果
- ⑨ 入院前と退院後の生活拠点、身体機能・生活機能・自立度、食事条件に関する情報

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局 栄養サポート室 倉橋 亮

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913